

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	3月31日、9月30日 その他必要あるときは あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel. 0120-232-711(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所 札幌証券取引所
公告方法	電子公告により行う (http://www.hokkanholdings.co.jp/)に 掲載いたします。ただし、事故その他やむを得 ない事由により電子公告をすることができな いときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり贈呈いたします。

贈呈基準

所有株式数	ご優待内容
1,000株 以上 5,000株 未満	2,000円相当の 缶詰詰合せ
5,000株 以上 10,000株 未満	3,000円相当の 缶詰詰合せ
10,000株 以上	5,000円相当の 缶詰詰合せ



株主の皆様へ

HOKKAN REPORT

Vol.21

第91期 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日

ホッカホールディングス株式会社

(証券コード:5902)



HOKKAN HOLDINGS

ホッカホールディングス株式会社

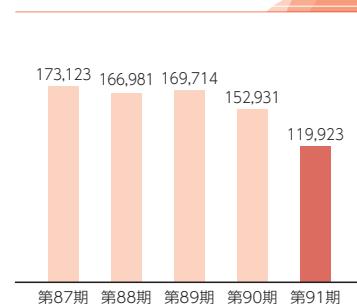
〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
TEL 03-3213-5111 (代表)

URL: <http://www.hokkanholdings.co.jp/>

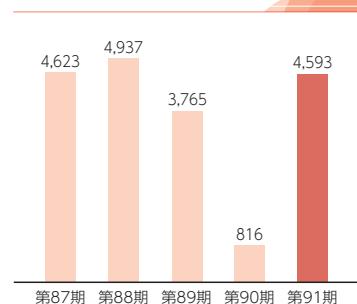


この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙とベジタブルオイルインキを使用しています。

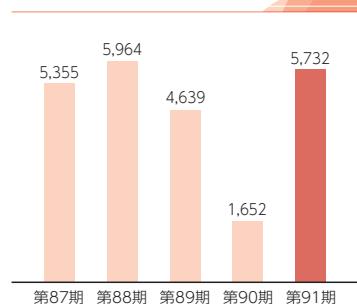
売上高 (単位: 百万円)



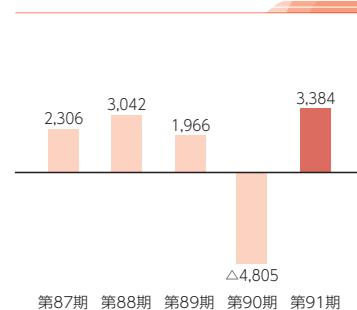
営業利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益[※] (単位: 百万円)



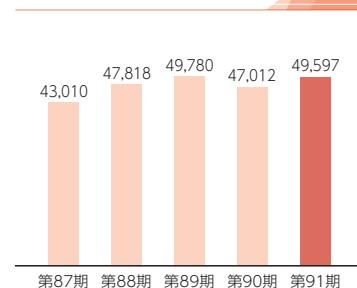
1株当たり当期純利益 (単位: 円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



ROE (単位: %)



ROA (単位: %)



※「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日)等の適用により、今年度から科目名称を変更しております。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第91期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の営業概況ならびに計算書類につき、ご報告申し上げます。

事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の設備投資に一部持ち直しの動きが見られる等、企業収益は非製造業中心に改善の傾向にありましたが、個人消費につきましては、期の後半に入ると消費者マインドに足踏みが見られる等、不安定さが残る結果となりました。

当連結会計年度における清涼飲料業界の状況につきましては、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動も一巡し、また、ゴールデンウィーク以降比較的好天に恵まれたことと、夏場前半の猛暑によりミネラルウォーター等を中心に市場全体が押し上げられたため、清涼飲料業界全体では前年を上回る結果となりました。

なお、カテゴリー別ではミネラルウォーターが前年を大幅に上回る結果となり、茶系飲料につきましても順調に推移いたしました。炭酸飲料やスポーツドリンク等につきましては前年を下回る結果となりました。また、コーヒー飲料につきましては、リシール缶(ボトル缶)が好調に販売を伸ばしたものの、通常缶につきましては自動販売機での販売不振の影響や、コンビニエンスストアで展開されるカウンターコーヒーの影響等により前年を下回る結果となりました。



代表取締役社長

工藤 常史

食品缶詰業界の状況につきましては、水産缶詰では原料の高騰に伴う製品価格の値上げや、海水温上昇の影響等によりサンマをはじめとした水産原料が不足し、生産が大幅に減少したため、前年を大きく下回る結果となりました。農産缶詰では猛暑による気温の上昇等により一部地域では農産原料の生育に影響はありましたものの、加工用原料は比較的安定して確保できましたため、前年並みに推移する結果となりました。

事業別の概況

容器事業

(メタル缶)

①飲料缶・食品缶

飲料用スチール空缶につきましては、主力の缶コーヒーがカウンターコーヒーの普及拡大や一部のお客様によるアルミ缶化の影響、および当社グループの重要な取引先様の飲料事業からの撤退の影響等により、飲料用スチール空缶全体では前年を下回る結果となりました。また、食品缶詰用空缶につきましては、農産缶詰において主力のスイートコーン缶が好調に推移したこと等により、前年を大幅に上回りました。しかしながら、水産缶詰につきましては、サンマ等の原材料価格の高騰や水産原料不足により大幅に減産となりましたため、食品缶詰用空缶全体では前年を下回る結果となりました。

②その他

エアゾール用空缶につきましては、主力の殺虫剤関連製品が前年を下回りましたが、工業用品や塗料等の一般缶につきましては順調でありましたため、前年を上回る結果となりました。

美術缶につきましては、ギフト関連商品において洋菓子を中心とした贈答用商品が順調に推移いたしましたため、美術缶全体では前年を上回る結果となりました。

(プラスチック容器)

①飲料用ペットボトル

飲料用ペットボトルにつきましては、お客様による内製化拡大の影響を受けたため、前年を下回る結果となりました。しかしながら、プリフォーム(ボトル成形前の中間製品)につきましては、積極的な営業活動を展開したことにより前年を大きく上回りましたため、プリフォームを含む飲料用ペットボトル全体では前年を上回る結果となりました。

②食品用ペットボトル

食品用ペットボトルにつきましては、贈答用商品が減少したため、食品用ペットボトル全体では前年を下回る結果となりました。

③その他

一般成形品につきましては、化粧品用や農薬・園芸品用が順



調に推移したため、前年を上回る結果となりました。また、バッグインボックスにつきましても新製品の獲得等により好調でありましたため、一般成形品全体では前年を上回る結果となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は、422億96百万円(前年度比1.0%減)となり、営業利益は21億92百万円(前年度は営業利益45百万円)となりました。

充填事業

(缶製品)

缶製品につきましては、コーヒー飲料では、リシール缶(ボトル缶)は堅調に推移したものの、通常缶は当社グループの重要な取引先様の飲料事業からの撤退の影響やカウンターコーヒーの普及拡大の影響により市場が低迷したため前年を下回り、また、炭酸飲料につきましても、スクラップアンドビルドの一環として炭酸ラインを撤去したことにより前年を大きく下回る販売数量となり、缶製品全体では前年を下回る結果となりました。

(ペットボトル製品)

ペットボトル製品につきましては、アセプティック(無菌充填)を含む大型ペットボトルでは、夏場前半までの好天が寄与したためミネラルウォーター等が順調に推移し、さらに、大型・小型兼用ラインの増設等も寄与したことにより、前年を上回る

販売数量となりました。また、アセプティック(無菌充填)を含む小型ペットボトル製品も、大型ペットボトル製品同様、夏場前半までの好天が寄与し前年を上回る販売数量となりましたため、ペットボトル製品全体では前年を上回る販売数量となりました。

しかしながら、一部のお客様との取引形態を変更(お客様からの原材料の無償支給)した影響により売上高が減少したため、ペットボトル製品全体の売上高は前年を下回る結果となりました。

以上の結果、第1四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めました乳製品製造等を営むくじらい乳業株式会社を加えた充填事業全体の売上高は683億4百万円(前年度比34.6%減)となり、営業利益は33億58百万円(前年度比140.0%増)となりました。

機械製作事業

機械製作事業につきましては、カセットガス工場充填ラインに関する設備の受注や自動車部品生産設備受注等がありましたため、機械製作事業全体の売上高は32億86百万円(前年度比106.5%増)となり、営業利益は3億71百万円(前年度比32.3%増)となりました。

その他

インドネシアにおいて、容器(ペットボトル)製造から内容物の充填までを一貫しておこなうPT.HOKKAN INDONESIA(ホッカシ・インドネシア)では、同国の経済がルピア安による物価上昇から消費者マインドが冷え込む等鈍化しているなか、本年増設した第2製造ラインの稼働により前年を上回る販売となりました。また、ベトナムにおいて清涼飲料の受託充填事業を営んでおりますNIHON CANPACK(VIETNAM) CO.,LTD.(日本キャンパック・ベトナム)は、新包装機械の導入や国内および輸出向け販売が増加したため、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、工場内運搬作業等をおこなっております株式会社ワーク・サービスおよび第2四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めました化粧品等製造販売を営む株式会社コスメサイエンスを加えたその他全体の売上高は60億37百万円(前年度比44.7%増)となりましたものの、PT.HOKKAN

INDONESIA(ホッカシ・インドネシア)において、製造ライン増設に伴い減価償却費が増加したこと等により、営業損失は2億32百万円(前年度は営業利益1億61百万円)となりました。

以上により、当連結会計年度における売上高は1,199億23百万円(前年度比21.6%減)、営業利益は45億93百万円(前年度比462.8%増)、経常利益は57億32百万円(前年度比246.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は33億84百万円(前年度は親会社株主に帰属する当期純損失48億5百万円)となりました。

対処すべき課題

来期のわが国経済の見通しにつきましては、中国の景気減速とアメリカの金融政策正常化の影響によるアジア新興国の景気の下振れが、日本国内の景気を下押しする懸念もあるなど、依然不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況のなかで、当社グループ中期経営計画「ACTIVE-5」は本年3月をもって最終年度を終えました。本中期経営計画期間中、清涼飲料市場のさらなる競争激化やエネルギーコストの高止まり等、様々な厳しい局面に対して当社グループはその都度一丸となって打開に向けた努力を続けてまいりました。その結果、当社グループは利益面につきましては、本年度、大幅な改善をいたしましたものの、残念ながら中期経営計画の目標数値は未達の結果となりました。

清涼飲料市場を主たるマーケットとしております当社グループを取り巻く今後の環境につきましても、来期は本年度と同様に競争激化の影響を受けたお客様からのコストダウン要請が続くなか、当社容器事業における缶コーヒーの競争激化が進むなど依然厳しい状況が続くものと思われま

す。今後、当社グループは東洋製罐グループホールディングス株式会社と経営統合に向け協議を進める一方、既存事業の持続的成長に向けた取り組みを引き続き行っていくとともに、前中期経営計画で掲げておりました「新たな事業展開への挑戦」の成果をあげるべく海外事業分野と新規事業分野をさらに強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ホッカンホールディングスはグループ事業会社全体の力を統合し、さらに高いレベルの「ものづくり力」を追求します。

当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。そして、「最大より最高」をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ「ものづくり力」を高めてまいります。



株式会社コスメサイエンス 新工場本格稼働へ

化粧品製造を手掛ける株式会社コスメサイエンスでは、新工場が昨年12月に竣工し、本年1月から稼働を開始いたしました。新工場では従来の各種化粧品製造設備に加え、新たに化粧品・トイレタリー分野において、日本市場では初の製袋から充填までの一貫したブリックパウチの生産設備を導入しております。

新工場の概要

内容	化粧品製造設備
設置場所	東京都北区浮間
竣工	2015年12月



くじらい乳業株式会社 新工場本格稼働へ

乳製品製造を手掛ける当社グループのくじらい乳業株式会社は、本年1月に埼玉県行田市に新工場を完成させ、2月より製造を開始しました。

これにより、当社グループは乳製品分野へ事業領域を拡大してまいります。

新工場の概要

内容	乳製品製造設備
設置場所	埼玉県行田市
竣工	2016年1月



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第91期 2016年3月31日現在	第90期 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	42,728	41,963
現金及び預金	2,155	930
受取手形及び売掛金	23,752	24,748
電子記録債権	2,633	3,557
たな卸資産	8,695	9,160
繰延税金資産	683	616
その他	4,828	2,969
貸倒引当金	△20	△20
固定資産	89,373	92,857
有形固定資産	62,553	64,732
建物及び構築物	23,558	20,709
機械装置及び運搬具	18,748	17,468
土地	16,072	15,673
リース資産	2,596	2,883
建設仮勘定	1,050	7,641
その他	527	354
無形固定資産	1,177	1,536
投資その他の資産	25,641	26,588
投資有価証券	22,478	21,309
繰延税金資産	21	34
退職給付に係る資産	522	1,379
その他	2,887	4,064
貸倒引当金	△267	△199
資産合計	132,101	134,820

科目	第91期 2016年3月31日現在	第90期 2015年3月31日現在
負債の部		
流動負債	40,123	45,500
支払手形及び買掛金	18,245	19,465
短期借入金	11,623	14,084
リース債務	579	495
未払法人税等	1,606	132
賞与引当金	832	780
その他	7,236	10,541
固定負債	42,381	42,308
長期借入金	37,175	37,164
リース債務	648	819
繰延税金負債	841	746
退職給付に係る負債	3,025	2,808
その他	690	769
負債合計	82,504	87,808
純資産の部		
株主資本	41,649	38,696
資本金	11,086	11,086
資本剰余金	10,744	10,750
利益剰余金	19,847	16,887
自己株式	△29	△27
その他の包括利益累計額	3,946	4,410
その他有価証券評価差額金	5,008	4,429
繰延ヘッジ損益	△69	△6
為替換算調整勘定	108	516
退職給付に係る調整累計額	△1,100	△529
非支配株主持分*	4,001	3,905
純資産合計	49,597	47,012
負債純資産合計	132,101	134,820

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第91期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	第90期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
売上高	119,923	152,931
売上原価	102,559	138,942
売上総利益	17,364	13,989
販売費及び一般管理費	12,771	13,173
営業利益	4,593	816
営業外収益	1,846	1,523
営業外費用	706	686
経常利益	5,732	1,652
特別利益	1,964	136
特別損失	1,830	6,257
税金等調整前当期純利益(△は損失)	5,867	△4,468
法人税・住民税及び事業税	1,785	455
法人税等調整額	248	△129
法人税等合計	2,033	326
当期純利益(△は損失)*	3,833	△4,794
非支配株主に帰属する当期純利益*	448	11
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)*	3,384	△4,805

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第91期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	第90期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	12,953	7,756
投資活動による キャッシュ・フロー	△12,089	△15,138
財務活動による キャッシュ・フロー	305	5,706
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△32	63
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,137	△1,611
現金及び現金同等物の 期首残高	930	2,459
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	87	82
現金及び現金同等物の 期末残高	2,155	930

連結株主資本等変動計算書(要旨)

第91期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株 持分*	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	11,086	10,750	16,887	△27	38,696	4,429	△6	516	△529	4,410	3,905	47,012
当期変動額												
剰余金の配当			△504		△504						-	△504
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,384		3,384						-	3,384
自己株式の取得				△1	△1						-	△1
連結範囲の変動			79		79						-	79
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△5			△5						-	△5
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					-	578	△63	△408	△571	△463	95	△367
当期変動額合計	-	△5	2,960	△1	2,952	578	△63	△408	△571	△463	95	2,584
当期末残高	11,086	10,744	19,847	△29	41,649	5,008	△69	108	△1,100	3,946	4,001	49,597

*「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日)等の適用により、今年度から科目名称を変更しております。

株式の状況

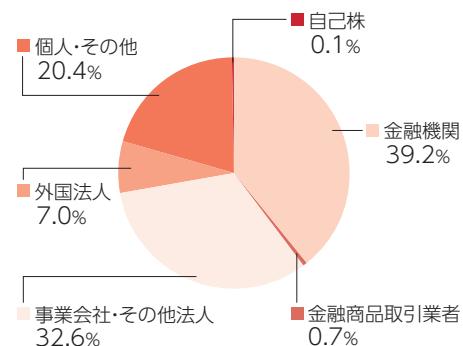
発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	67,346,935株
株主数	5,955名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トーモク	5,926	8.81
日本生命保険相互会社	3,274	4.87
株式会社みずほ銀行	3,273	4.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,141	3.18
農林中央金庫	2,000	2.97
東京海上日動火災保険株式会社	1,805	2.68
株式会社北海道銀行	1,765	2.63
株式会社メタルワン	1,700	2.53
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	1,614	2.40
JFEスチール株式会社	1,565	2.33

(注)持株比率は自己株式(89,113株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



会社概要



商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
本社	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 丸の内三井ビル TEL03-3213-5111
設立	1950(昭和25)年2月1日 (創立 1921(大正10)年10月23日)
資本金	110億8,652万4,995円
従業員数	33名
事業内容	(1)各種空罐、容器の製造販売 (2)清涼飲料水・酒類その他各種飲料の受託充填および販売 (3)乳製品・菓子類の受託製造販売 (4)レトルト食品の受託製造販売 (5)各種化粧品受託製造販売 (6)各種機械の製造販売 (7)機械器具設置工事業 (8)倉庫業 (9)土木・建築工事の設計、施工請負

役員 (2016年3月31日現在)



取締役社長(代表取締役)	工藤 常史 (前列中央)	取締役(社外)	田中 弘 (後列右から1番目)
常務取締役	山崎 節昌 (前列右から3番目)	常勤監査役	竹田 由里 (後列左から1番目)
常務取締役	池田 孝資 (前列左から3番目)	監査役	寺嶋 勉 (後列左から2番目)
取締役	久保田 裕一 (前列右から2番目)	監査役(社外)	新名 孝信 (後列中央)
取締役	藤本 良一 (前列左から2番目)	監査役(社外)	安藤 信彦 (後列右から2番目)
取締役	小池 明夫 (前列右から1番目)		
取締役	武田 卓也 (前列左から1番目)		

※2016年6月29日 社外取締役就任

新任役員



社外監査役 田代 宏樹
2016年6月29日就任